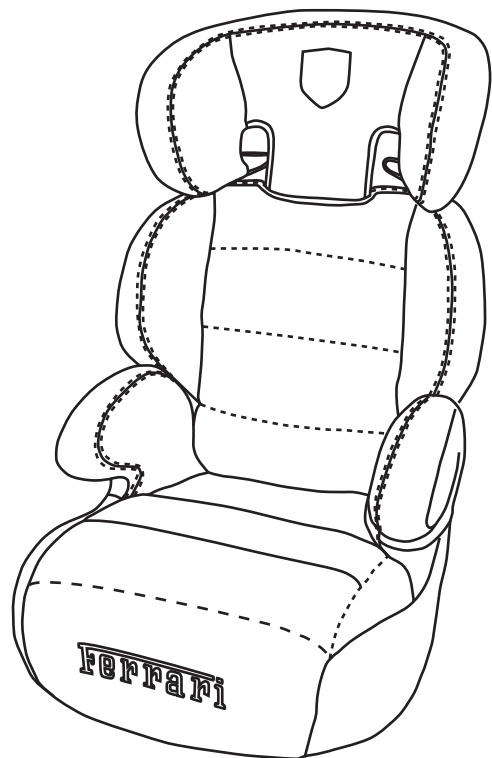


Ferrari

TYPE 302

体重15KG～36KG
3点式シートベルト専用



取扱説明書(保証書付)

本書は常に車検証と一緒に車内に保管してください



モデル名 : TYPE 302
適応体重 : 15kg～36kgまで
適応身長 : 140cmくらいまで
参考年齢 : 3歳くらい～

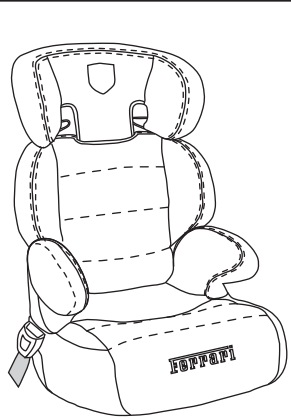
Made in France

デイナー・インターナショナル
テクニカルサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-13-108
TEL: 03(5447)1915
e-mail: info@danar.jp
www.danar.jp

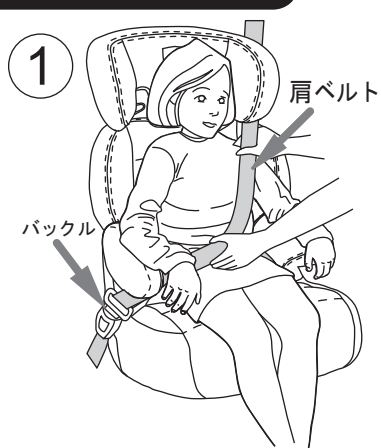
Ferrari

OFFICIAL LICENSED PRODUCT Produced under license of Ferrari Spa. FERRARI, the PRANCING HORSE device, all associated logos and distinctive designs are trademarks of Ferrari Spa.

● 15kg～25kg（背もたれ使用時）

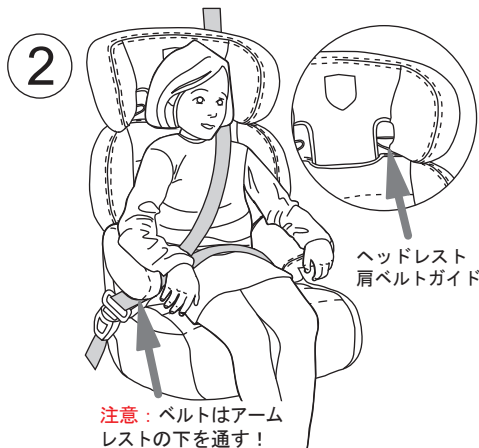


お子様が座る前に背もたれ部と座部がしっかりと固定されているか（ぐらぐらしていないか）を確認してください。（組立て方は裏面上段右図・説明を参照のこと）



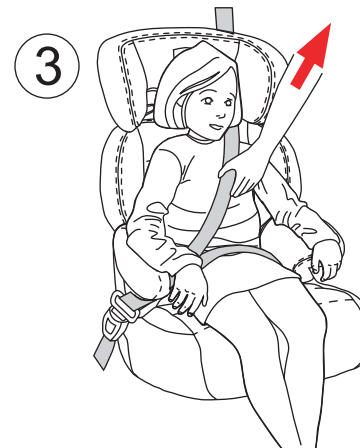
① 深くお子様を座らせて、車のシートベルトタングをバックルにはめます。

※ヘッドレストをスライドさせてお子様の頭部の位置に合わせてください。



注意：ベルトはアームレストの下を通す！

② シートベルトをアームレスト下、肩ベルトガイドに通します。



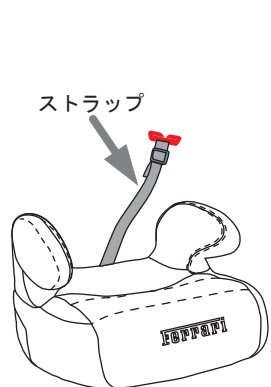
③ シートベルト全体にねじれやたるみの無い様、引締めます。

QUICK CHECK! クイックチェック！

- ① 背中は座席の背もたれにぴったりついていませんか？
- ② シートベルトがお子様の腰骨、肩の真ん中に載っていますか？
- ③ シートベルト全体にたるみはありませんか？
- ④ 肩ベルトアジャスターは肩の位置にありますか？（体重25kg～）
- ⑤ 薄着ですか？（コート、ブランケットはシートベルトをつけた上に掛けましょう）

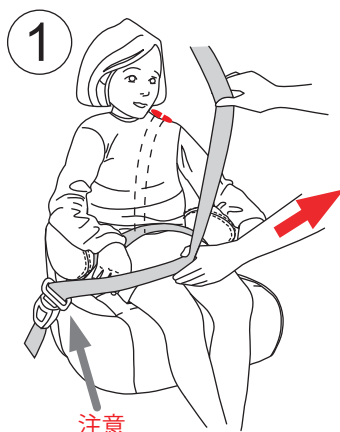
※ 厚着の場合、衝突時にシートベルトとお子様の間に隙間ができ、危険を及ぼす場合があります

● 25kg～36kg（座部のみ使用時）



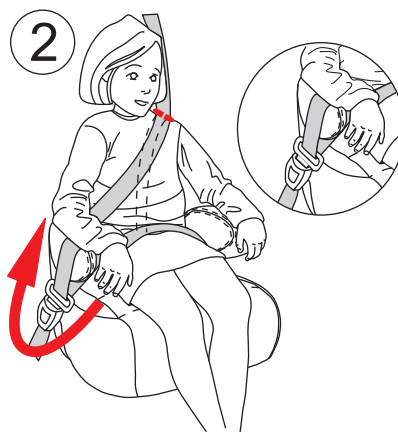
お子様が座る前にアジャスターストラップはバックル側に引き出します。

※ 車のシートベルトがお子様の肩の真ん中（正しい位置）に載る場合は、肩ベルトアジャスターをとめずに使用できます。

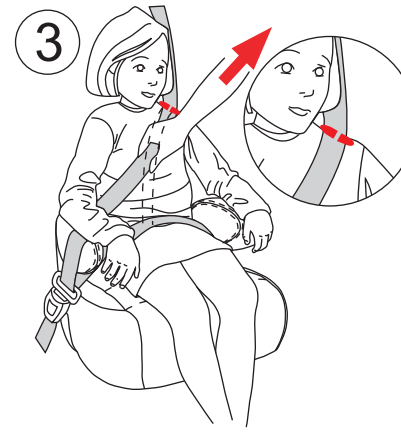


① 深くお子様を座らせて、車のシートベルトタングをバックルにはめます。

注意：腰ベルトはアームレストの下を通し、肩ベルトはアームレストの上に！

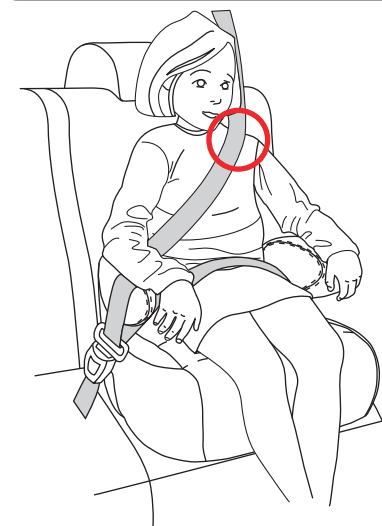


② 肩ベルトアジャスターを肩の位置でとめます（アジャスターストラップ（点線）は背中から回し、肩の位置で車のシートベルトと合わせます）



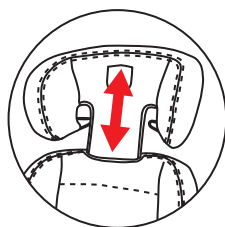
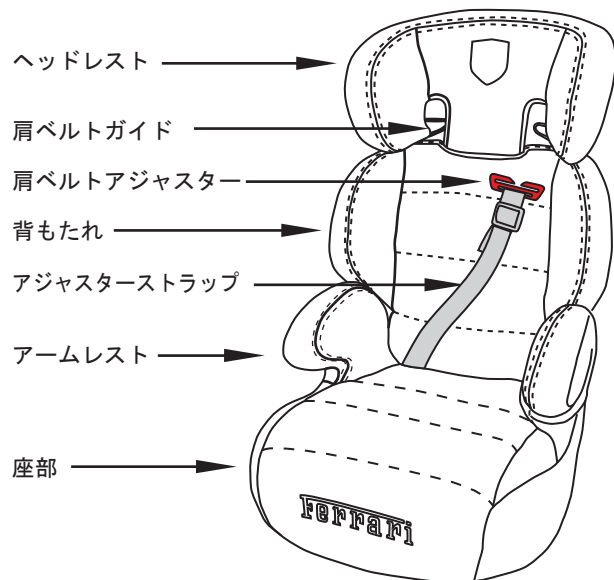
③ シートベルト全体にねじれやたるみの無い様、引締めます。（肩ベルトアジャスターの位置を再度合わせます）
※シートベルトとアジャスターベルトは「たすきがけ」となります。

アジャスター不要の場合



※肩ベルトガイドを使用し、車のシートベルトがお子様の肩の真ん中（正しい位置）に載る場合はアジャスターをとめずに使用できます。

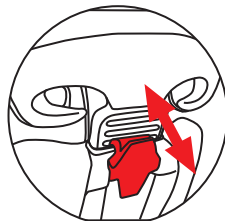
●各部名称と付属品



ヘッドレスト

(上下にスライド)

ヘッドレストは必ずお子様の頭の位置にあわせて調整してください。



ヘッドレストストッパー

ヘッドレスト裏側のストッパーを手前に引くとヘッドレストを調整できます。



肩ベルトアジャスター

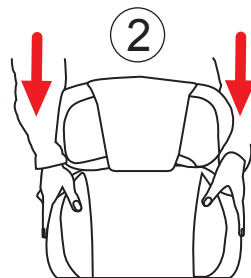
座部のみで使用(体重25kg～)の時、車のシートベルトを正しい位置にするためにご使用ください。



組立て方:

- ① 背部のつめを座部の後の穴にあわせませう。
- ② 背部の上体を起こし、軽く力をいれて下向きに押込みませう。

※ 分解するには: 軽く力を入れて背部を後ろに倒してはずしてください。



エアバッグ装備の座席では使用しないでください。死亡または重傷を負うおそれがあります。

Q&A

Q1. チャイルドシートはいつまで使用する必要があるのでしょうか？
法律では6歳未満のお子様への着用が義務付けられていますが(2008年7月現在)車のシートベルトが正しく使えるまでは(目安身長140cm～150cm以上)車内でのお子様の安全を確保するため、必ずチャイルドシートを使用する必要があります。右の5ポイントチェックをしてブースターが必要かどうか確認してみてください。

Q2. うちの子はこのチャイルドシートの対象でしょうか？
お子様が使用体重制限内であるかを必ず確認してください。TYPE302は体重15kg以下では使用できません。ただし、体重・身長・年齢のさまざまなコンビネーションがあり、体重15kgといっても、もしお子様が車内でチャイルドシートに常に正しい姿勢で座っていられないようであれば、体重18kgまでは5点式ハーネスつきチャイルドシートのご使用をおすすめします。

Q3. TYPE302でよくある間違いを教えてください。

- ・小さすぎるお子様を乗せている
- ・ベルトの通し方が間違っている
- ・ベルトの締付けがゆるすぎる
- ・背もたれをリクライニングさせている

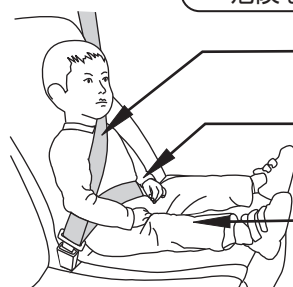
Q4. チャイルドシートの使用期限はどのくらいでしょうか？
チャイルドシート本体の材質はプラスチックです。プラスチックは

加水分解等の経年劣化で、目に見えない亀裂などが生じる場合があります。従い、チャイルドシートの使用期限は購入日より5～6年が目安です。一度落したり、衝撃にあった場合は必ず買い替えてください。もし購入より10年以上たつようであれば廃棄するをお願いします。

Q5. 助手席への装着はなぜだめなの？

チャイルドシートは一番衝撃の大きい前面の衝突に対して設計されています。その衝突から少しでも被害を少なくするためには車の前方から少しでも距離を置いた後席に設置する必要があります。

危険な座り方



肩ベルトが首にかかっている
(左の5ポイントチェックの④)

腰ベルトがお腹にかかっている
(左の5ポイントチェックの③)

背もたれに背中をつけるとひざを曲げられない(左の5ポイントチェックの①と②)

●5ポイントチェック

- ① お子様の背中中は車のシートの背もたれにぴったりくっついていませんか？
(衝突時、お子様が深く座っていない場合、前席などにぶつかります)
- ② お子様のひざは車のシート先端の位置でちゃんと曲がりませんか？
(お子様はひざを曲げられる位置まで移動しますので、①の状態になります)
- ③ 腰ベルトはお子様の腰骨に位置していますか？
(お腹にベルトがかかる場合は衝突時に内臓破裂の危険があります)
- ④ 肩ベルトはお子様の肩の真ん中に位置していますか？
(首にベルトがかかる場合は衝突時に首の骨・神経を損傷する危険があります)
- ⑤ お子様は車の移動中上記1～4の条件をずっと守っていられますか？
(衝突はいつ起こるか予測できません。お子様は常に正しい位置でシートベルトで守られなければなりません)

もし“NO”がひとつでもある場合は、大人と同じようにシートベルトを使用するのは早すぎます。必ず背もたれつきまたは座部だけのブースターをご使用ください。なお体重18kgまでは5点式ハーネスつきのチャイルドシートをご使用ください。

●取付け出来ない座席

- ・フロントエアバッグ装備座席
- ・車の進行方向に対して、横向き及び後向き座席
- ・3点式シートベルト以外の座席
- ・シートベルトに損傷のある座席
- ・シートベルトの短い座席
- ・助手席、前部中央席
- ・補助座席及び幼児専用座席
- ・座面の凸凹が極端な座席
- ・取付け時、運転に支障を及ぼす座席（前部中央席など）
- ・市販のスポーツシート（極端なバケットタイプ）
- ・タングストッパーが高い位置にある、もしくは本体と干渉のあるもの
- ・クッションが極端にやわらかい座席
- ・アンカー幅が40cm未満の座席
- ・バックル位置が背もたれから10cm以上の座席
- ・座席の奥行きが40cm未満の座席

●注意事項

- ・お子様を一人車内に残さないでください
- ・必ず車のシートベルトで装着してください（ベルト、ロープなどでは装着できません）
- ・事故や落下など、強い衝撃を受けた場合は使用を中止してください
- ・お子様が乗っていない時も必ず本体を車に固定してください
- ・お子様の為に休憩なしの長時間運転は控えましょう

- ・本品を改造して使用することはできません
- ・背もたれのみでの使用はできません
- ・室内などで椅子としての使用はできません
- ・本体を持ち運ぶ時は、背もたれ、座部をしっかり持ってください
- ・障害を与える可能性のある荷物などは必ず固定してください
- ・カバーを外したままの使用（プラスチック本体のみ）はできません
- ・本体にお子様を乗せたまま持ち運ばないでください
- ・座席のリクライニングはできるだけ起こして使用ください
- ・本革シート座席に取付けをすると取付け跡が残ることがあります
- ・車のオーナーズマニュアルを併せて読んでください
- ・取扱説明書は常に車検証と一緒に車内に保管してください
- ・使用中、お子様から目を離さないでください
- ・お子様のベルトがきちんと締められているか、常に確認してください
- ・発進前に必ず装着確認をし、走行中の取付け操作は行わないでください
- ・お子様が本体の上で立ったり、中腰になったり、正座した時は必ず車を止め、正しく直してください
- ・車のシートベルトはチャイルドシートの指定位置を必ず正しく通してください
- ・シートベルトはねじれの無いよう確認してください
- ・安定、安全の為に車のシートとチャイルドシートの間に隙間を作らないでください
- ・車のシートとチャイルドシートの間に物をはさまないでください
- ・直射日光による車内温度の上昇は危険です。チャイルドシートを使用しないで車内に放置する場合は、カバーすることをおすすめします（特に固定・接続部などによる火傷を避ける為）
- ・ご購入時の箱、袋等で小さなお子様を遊ばせないでください
- ・お子様の安全の為にも、使用方法をきちんと守ってください

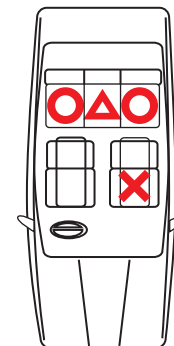
●取付け可能な場所



3点式シートベルト



2点式シートベルト



OK



NO



車の座席の背もたれがリクライニングする場合、できるだけ起こした状態で装着、または使用してください。

●保証規定

- 1、一度ご使用になった製品は、原則として交換できません。
 - 2、保証期間内（ご購入日より一年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - 3、保証期間内でも次のような場合には有料修理・有料交換になります。
 - a) プラスチック部品の自然劣化による変色
 - b) 本体シート、カバー等の縫製部品の汚れや損傷
 - c) お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - d) ご購入後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - e) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変による故障及び損傷
 - f) 本書と販売店の領収書（ご購入日記載のもの）がない場合
 - g) 本書のご提示がない場合
 - h) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合
 - i) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費
 - 4、衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
 - 5、製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。
 - 6、本書は日本国内においてのみ有効です。
- ※ 本書は再発行いたしませんので、ご購入の領収書（ご購入日記載のもの）と一緒に大切に保管してください。
- ※ 保証は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

●シートベルトによる使用制限

本製品は3点式のシートベルトであれば、シートベルトの種類に関わらず使用することが可能です。ただし、チャイルドシート固定機能（A-E-L-R）付きシートベルトの場合はその固定機能を利用すると走行時の振動等でお子様にシートベルトが食い込んでしまう可能性があるため、必ずシートベルトの長さ調整が自由にできる位置でご使用ください。なお、シートベルトの機能につきましては取付けを行う車のオーナーズマニュアルをご参照ください。

●お手入れ方法

- 1、カバーはすべて取外せます。
- 2、アイロン、洗濯機、乾燥機は使用しないでください。
- 3、石鹸水をしめらせたスポンジ等で拭く、もしくは30度以下の液温で手洗いしてください。
- 4、中性洗剤、漂白剤等は使用しないでください。

●保管場所

- ・市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない涼しい場所
- ・お子様の手の届かない場所

●廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の指示に従い、処分、廃棄してください。（できるだけカバーなどの付属品は取外して本体プラスチック部のみで廃棄することをおすすめします。）
- ・事故による処分の場合、本品に「事故品」等記入し、「再使用不可」である旨必ず明記ください。また車のシートベルトを自動車ディーラー等で点検することをおすすめします。